

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

このうら

佐世保市立神浦小学校
校長室便り

ビッグスマイル
神浦・ザ・13

No.40

平成26年10月21日(火)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

先週末は、久しぶりに秋らしい爽やかで気持ちの良い週末となりました。(土日は少し暑過ぎましたね。) 朝夕は、ちょっと肌寒い時もありますが、そんなところからも秋の深まりを感じます。

子ども達にとって、心地よい気候の中で、腰を据え、学習にじっくりと取り組みやすい季節でもあります。『学びの栄養』、『成長への糧』をたっぷり吸収し、かしこく、優しく、強く、そして逞しく、自分を伸ばせるよう指導してまいります。

本に親しもう! 読書に親しもう!

10月27日～11月9日は読書週間です!



子ども達が「かしこく、優しく、強く、そして逞しく」成長していくための大切な手段の一つが読書です。来週の月曜日、10月27日から11月9日(日)の2週間は、『読書週間』です。

終戦までもない昭和22年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。 < 社団法人 読書推進運動協会より >

人間は、「人から学ぶ」、「本から学ぶ」、「旅から学ぶ」とも言われます。

子ども達にとって、その創造の羽を大きく広げ、その愛など生きるための豊かな情感を育むものでもあると思います。読書の効果や効用については、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につける上で欠かせないものである等、様々に言い尽くされていると思いますが、難しいことは抜きにして、とにかく『楽しい』行為ではないでしょうか。

本校でも、読書の推進については力を入れているところです。

今年の標語は 2014 読書週間標語 「めくる めぐる 本の世界」

この期間には、いつも以上に読書活動に力を入れ、更に読書が大好きな子どもに育てていきたいと思っています。

真に素晴らしい本は内容以上のことを教えてくれる。その本を置き、仕入れた知恵を試したくなる。読むことで、行動せずにいられなくなるのだ。

(ソロー：米国の作家、詩人)

宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。

(ウォルト・ディズニー：米国の実業家)

私が人生を知ったのは、人と接したからではなく、本と接したからである。

(アナートル・フランス：仏国の詩人、小説家)



◎ 今年度も、朝の読書タイムの時間には図書ボランティアとして、校区内地域の野宮様、吉田様、山田様に
お越しいただき『読み聞かせ』をしていただいています。子ども達もとても楽しみにしている時間です。
3名の皆様、お忙しい中、いつもありがとうございます。